

**令和3年度宮城県試験研究機関評価委員会  
(第2回農業関係試験研究機関評価部会)  
研究課題に係る評価実施結果**

**1 評価委員**

評価委員名	所属・職名等		摘要
中村 聡	公立大学法人 宮城大学食産業学群	教授	部会長
菊地 郁	公立大学法人 宮城大学食産業学群	准教授	副部会長
麻生 久	国立大学法人 東北大学大学院農学研究科	教授	委員
西條 由美恵	農業者		委員
佐々木 均	農事組合法人仙台イーストカントリー	代表理事	委員（欠席）

**2 評価対象課題**

評価対象課題名	概要	実施期間	予算額	摘要
次代への承継に向けた農業法人の経営体制のあり方と、効果的な支援手法の解明	事業承継や支援体制等の事例調査などにより、次世代に向けた農業経営体制のあり方やワザを含めた経営資源の効果的な承継支援手法を明らかにする。	令和4～6年度	3,273千円	事前評価
気候変動に対応した「高品質宮城米」安定生産を図るための栽培方法の確立	「ひとめぼれ」「ササニシキ」の品質低下等の要因を再解析し、気象変動等の様々な状況下でも高品質安定生産可能な栽培方法と栽培支援の方法を検討し栽培技術を確立する。	令和4～8年度	5,575千円	事前評価
堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造及び利用方法の検討	堆肥の利用促進に向け、令和2年度の肥料制度の見直しで新設された「特殊肥料入り指定混合肥料」の普及拡大を図るため、堆肥と化学肥料の配合内容や加工・製造工程及び労働費を含めた新肥料導入時のコストを検討する。	令和4～6年度	2,988千円	事前評価

**3 評価項目**

- (1) 研究目標のニーズ適合性・地域への貢献度
- (2) 緊急性・優先性
- (3) 独創性・先進性・優位性
- (4) 市場性・成長性
- (5) 実現可能性
- (6) 人・予算・設備等の推進体制
- (7) 総合評価

**4 評価結果（コメント等は別紙参照）**

- (1) 次代への承継に向けた農業法人の経営体制のあり方と、効果的な支援手法の解明  
事前評価 「ぜひ採択すべきである」
- (2) 気候変動に対応した「高品質宮城米」安定生産を図るための栽培方法の確立  
事前評価 「ぜひ採択すべきである」
- (3) 堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造及び利用方法の検討  
事前評価 「採択した方が良い」

**5 研究課題評価表**

別紙のとおり。